

# PFUソフトウェア株式会社

(現 PFUテクニカルコミュニケーションズ株式会社)

## ◎ 事業所概要

企業名:PFUソフトウェア株式会社(現 PFUテクニカルコミュニケーションズ株式会社)

代表者氏名:代表取締役社長 牧本 和彦

所在地:かほく市

業種:ソフトウェア開発事業、マニュアル制作事業

労働者数:312人

## ◎ 行動計画

- 1 計画期間 平成24年4月21日～平成26年4月20日
- 2 内容
  - 目標1 育児休職取得促進
    - ・女性社員－育児休職取得率90%以上を維持する
    - ・男性社員－育児休職取得者数を1名以上とする
  - 目標2 仕事と育児の両立支援に関する制度運用の啓発と一層の利用促進
  - 目標3 労働時間の適正化および休暇取得促進
    - ・計画期間内において、年間の時間外労働750H超過者0名を継続厳守する
    - ・休暇の取得促進
      - －年間平均12日以上を取得を維持する
      - －全社員が、年間6日以上取得する
  - 目標4 社員会活動を通じた仕事と家庭の両立支援

## ◎ 目標達成の状況

- 目標1
  - ・女性の育児休業者 5名 (対象者5名中5名取得 取得率100%)
  - ・男性の育児休業者 3名
  - ・スムーズな職場復帰ができるよう、休業中の会社の状況について情報提供
- 目標2
  - ・社内ホームページやメールマガジンを通じた社員への啓発活動を実施、仕事と家庭の両立支援に関する制度の利用促進
  - ・男性の育児休業取得を促進するために、管理職に対して自社の両立支援制度について周知啓発
  - ・「母親・父親教室」の開催による仕事と育児の両立支援
  - ・「在宅勤務制度」の運用改善に向けた、社内要望ヒアリングや社員会との検討の実施
- 目標3
  - ・全社一斉定時退庁日を設定するとともに勤務の適正化について周知し、削減目標の達成に向けて所定外労働時間管理を徹底
  - ・年次有給休暇について、四半期ごとに年次休暇取得計画を各部門から提出させ、目標値達成に向けて取組を実施

- ・毎月の安全衛生委員会において時間外労働及び年次有給休暇の取得状況を確認することにより、削減目標の上限を超える超過勤務者0名及び2012年度、2013年度とも全部門において年間平均12日以上取得し、かつ全社員が年間6日以上有給休暇の取得を達成
- 目標4 ・社員会 News の発信やイベント開催を通じた社員家族のふれあいの機会の創出や男性の育児休業取得について意識啓発

#### ◎ その他の取組の状況

- ・小学校卒業前までの子を有する社員は、短時間勤務制度や所定外労働の免除制度、フレックスタイム制度、子の看護休暇制度を利用可能
- ・時間外労働の制限制度、深夜業の制限制度について、小学校3年生の年度末まで利用可能
- ・小学校就学前の子を有する社員を対象としたベビーシッター等のサービスを利用した場合の費用補助の実施

#### 企業からのひとこと

##### ○ 行動計画策定・実施に当たって工夫した点

自社の次世代育成支援対策について理解してもらうため、社内イントラに「仕事と家庭の両立支援」のページを設け、会社として取組を進めていることを周知しました。

また、実施に当たり、育児に直接参加していない社員にも関心をもってもらうことを意識し、仕事と育児の両立支援に関することだけでなく、在宅勤務制度の運用改善の検討や所定外労働時間の削減、休暇の取得促進などの働き方の見直しにも力を入れました。

##### ○ 行動計画に基づく取組の効果・課題

労働時間の適正化に向けて、継続的に取り組んでいます。ワークライフバランス意識を社内に浸透させ、長時間労働0名を遵守しました。

また、管理職に対して、自社の両立支援策制度について周知啓発を行ったことで、男性育児休業取得について理解も深まり、取得者の促進につながりました。

今後の課題としては、育児や介護等に直面しても活躍し続けられる職場を目指し、社内風土や社内制度の改善に取り組んでいきたいと考えています。

##### ○ 育児休業を取得した男性従業員の声(ソフトウェア開発部門・38歳)

周囲の方々の奨めがきっかけで、せっかくの制度とよい機会なので利用しました。休職の期間は、1か月間の取得です。

仕事について、上司や同僚の理解のお陰で快く快諾してもらい、引継ぎ等もスムーズに行えました。

休職期間中は自分なりに育児と家事をがんばりました。体力的には大変でしたが、日に日に成長していく息子を見てると楽しく過ごせました。

1か月もつきっきりで育児をする貴重な体験ができて本当によかったです。

やっぱり育児は大変で、妻1人で行うとなるとさらに大変です。特に1人目の最初の時期はわからないことが多く不安にもなると思います。

夫の少しのサポートでも、すごく楽になるそうです。よい制度なのでぜひ活用していただけれ

ばと感じました。

(ソフトウェア開発部門・37歳)

休職期間は、1か月間の取得です。

仕事については、早めに宣言していたことが功を奏したのか、運良く忙しくない時期だったこともあり、特に問題はありませんでした。

育児休職期間中は、主に家事のサポートを行いました。

栄養のバランスを考えながら、3食の献立を考えるのは本当に大変です。確実に料理はスキルアップしています。

初めての買い物に出かけたときは、駐車場でのベビーカーの積み下ろし等、やってみないと不便さが分からないものだな、と実感しました。

いろいろありましたが、スクスクと成長しているわが子の姿を見ているだけで癒されます。

自分自身が経験してみて、育児休職をオススメします。是非活用していただければと感じました。